令和4年度

社会福祉法人茅野市社会福祉協議会事業報告

総括

少子高齢化や核家族化の進行、人間関係の希薄化、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式や働き方の変化等に伴って地域社会は大きく変容するとともに、社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、権利擁護の問題など、地域における生活課題は深刻化しています。

地域では、人と人とのつながりが大切にされ、誰もが安心して暮らしていける支え合いのまちづくりのための、きめ細やかな福祉が強く求められています。

このような中、本会では、「誰もが心豊かに安心して暮らせる支え合いのまち」の実現に向けて、多くの方々から福祉への理解と参加を得ながら、区・自治会、関係する団体・機関及び茅野市との協働による小地域福祉活動の推進の他、各種日常生活支援・在宅福祉サービスなどの受託事業も数多く担いました。加えて、2年半にわたり、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等で生活が困窮した世帯を中心に、「生活福祉資金特例貸付」等に関連した相談支援体制の強化を図りました。

こうした取組をする中でも、多様な地域生活課題の解決を支援するためには、福祉分野はもとより、幅広い分野との連携・協働が不可欠であり、地域づくりに関しても、これまで培ってきた地縁型組織を中心とした地域福祉活動等をさらに発展させ、多様性のある地域をめざす必要があることから、社協の全事業のうち62事業を抽出して「事業の棚卸」を行い、業務改善に着手しました。

さらに、コロナ感染による介護保険施設の休業による減収も相まって、本会の持続可能な経営や安定化に向けた運営のあり方等を見定める必要があることから、2024年度までの3年間の「財政健全化・経営安定化に向けた改革プラン」を策定しました。あわせて、規程類等の整備による法令遵守の徹底、新型コロナウイルス感染症関連業務継続計画(BCP)の策定による危機管理の強化、事務事業評価・人事評価の実施や、人材育成基本指針の施行による人材育成等を進めることで本会の組織変革や意識改革を進め、「地域住民等」の期待に応えられるよう努めました。

事程左様に、本会は、本会だけで、あるいは限られた住民だけで事業・活動を推進するのではなく、これまで以上に、より開かれた組織、より多様な人や機関・団体とつながり続ける組織となり、「連携・協働の場」としての機能を発揮する必要があります。

そのためにも、地域における総合相談・生活支援体制の強化・確立への取組、きめ細やかな日常生活支援(生活困窮者支援、権利擁護)、ボランティア・市民活動支援と活動者・団体の育成、災害支援体制の構築など、引き続き、それぞれの課題に対し具体的に取り組まなければなりません。今後も、「福祉21ビーンズプラン(茅野市地域福祉計画)」、各地区の「地域福祉行動計画」及び「茅野市社協発展強化計画」の実践に取り組み、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現をめざします。

令和4年度 事業報告

1 法人・地域福祉推進事業

(1) 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算等を定め、決算や監査など本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、広報紙「やらざあ」やホームページ、Facebook を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行いました。

「第2次茅野市社協発展強化計画」を推進する中で、非常に厳しい財政状況にあることを踏まえ、令和4年度は、経理事務等の社協運営に必須な事業や事務を除く、社協が実施している事業・事務の棚卸作業を実施しました。棚卸結果を踏まえ令和5年度の事業計画・予算としています。

管理運営事業

令和4年度決算	61,791,228 円	(前年度比 - 16,582,923 円)
令和3年度決算	78,374,151 円	

(ア) 経営委員会・理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	出席数	主な内容
5月25日(水)	経営委員会 (第1回)	7人	第1回理事会提出議案の検討
6月7日(火)	理事会 (第1回)	9人 (監事2人含む)	令和3年度事業報告、決算報告等 6議案
6月23日(木) (1)	評議員会 (第1回)	12人 (2)	令和3年度事業報告、決算報告 2議案(書面同意により決議省略)
7月27日(水) (1)	理事会 (第2回)	10人 (2)	評議員選任候補者の推薦等 3議案(書面同意により決議省略)
8月8日(月)	評議員選任・ 解任委員会	3人	評議員の選任 1議案
3月3日(金)	経営委員会 (第2回)	7人	第3回理事会提出議案の検討 事務事業評価、人事評価、事業の棚卸報告
3月13日(月)	理事会 (第3回)	9人 (監事1人含む)	令和5年度事業計画、予算等 9議案
3月24日(金)	評議員会 (第2回)	10人 (理事4人含む)	令和5年度事業計画、予算等 3議案

1 理事・評議員の書面同意により決議があったものとみなされた日

2 書面同意のあった理事・評議員数

(イ) 定例監査の実施

5月24日(火)	令和3年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 役員・評議員研修等

開催日	内 容
12月13日(火)	諏訪ブロック社協役員及び職員合同研修会 テーマ:「終活と人生設計について」 講 師: 岡谷市成年後見支援センター運営委員 行政書士 木村和彦氏 内 容: 生前の新しい相続の形「家族信託」について 参加者: 理事・職員 計5人

(エ) 諸規程等の整備

種別	規程等	改正	施行日	
規程	経理規程 正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程	一部改正	令和4年6月1日	
	日給職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程 苦情解決に関する規程 情報公開・個人情報保護審査会設置規程 個人情報保護規程 個人情報保護規程施行細則	一部改正	令和4年10月1日	
	正規職員の給与等に関する規程 嘱託職員の給与等に関する規程	一部改正	令和4年12月1日	
	嘱託職員の給与等に関する規程 日給職員の給与等に関する規程 時給職員の給与等に関する規程 表彰規程 経理規程 情報公開規程	一部改正	令和5年4月1日	
	情報公開規程施行細則	一部改正	令和5年4月1日	
	個人情報保護規程 個人情報保護規程施行細則	全部改正	令和5年4月1日	
	要綱	シャララ・ほっとサービス事業実施要綱	一部改正	令和4年9月1日
		自家用自動車の業務使用取扱要綱	一部改正	令和5年3月1日
結婚相談所運営要綱		一部改正	令和5年4月1日	
福祉関係団体活動助成金交付要綱		一部改正	令和5年4月1日	
業務継続計画（BCP）の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・あすなろセンター新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 ・西部サービスセンター新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 ・居宅介護支援事業所新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画 ・訪問介護事業所新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（介護サービス類型） ・訪問介護事業所新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（障害サービス類型） 				

(オ)職員採用

業務が円滑に執行できるよう年間を通して職員募集を行っていますが、職員が充足しない状況にあります。ハローワーク以外の媒体を活用した職員募集も行いました。

応募等の状況

応募者数	4人
採用者数	2人
不採用者数	1人
採用辞退者数	1人

(カ)職員研修

職員の成長と組織の発展につなげるため、目指すべき職員像や組織的な取組の方策など基本的な考え方を明示した「茅野市社協人材育成基本指針」を令和3年度に策定し、令和4年4月1日から施行しました。

長野県社協福祉人材センター福祉職員生涯研修を活用し、職層に応じた研修を行いました。また、職員のスキル向上を図るため、職員の資格取得支援制度を活用した資格取得の促進、業務に関係する専門的な研修に参加し、研修終了後の振り返りや職場内への伝達・報告を通じ、組織力の向上につなげました。

研修参加状況

参加研修数	41件
参加職員数(延べ)	78人

職員の資格取得支援制度の利用状況

・主任介護支援専門員(2名)
・サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者(1名)
・同行援護従事者(2名)

(キ)社協発展強化計画の進行・管理

令和元年度(令和2年2月)に策定した「第2次茅野市社協発展強化計画」を推進する中で、社協の持続可能な経営のため「財政健全化・経営安定化に向けた改革プラン」を策定し、令和6年度までの3年間で事業・組織体制を見直すこととしました。

令和4年度は、「事務事業評価」に併せ「事業の棚卸」を実施し、事業の効果検証を行いました。

事業の棚卸評価結果

棚卸を実施した事業の件数		62事業
評価結果	継続実施	46事業
	重点棚卸事業として協議を継続	4事業
	事業の廃止・休止・縮小を進める	5事業
	事業の統合を進める	3事業
	事業の見直しを進める	4事業

(ク)社協会費の収納

社協活動への理解と参加を促進するため、住民会員制度をとり、社協活動に理解・賛同いただくなかで、社協会費を納めていただいています。

世帯（個人）の社協会員会費は、区・自治会の協力により、広く市民から納めていただいています。ただし、会員数（会費収入）は、減少しています。

社協会員種別・会費

世帯（個人）の会員			法人会員
普通会員	賛助会員	特別会員	
1,000円	2,000円	3,000円以上	3,000円以上

社協会員・会費実績

			令和4年度	令和3年度	令和2年度
世帯 (個人) の 会 員	普通会員 (1円～1,999円)	会員数	7,294世帯	7,350世帯	7,552世帯
		会費	7,185,204円	7,261,278円	7,456,785円
	賛助会員 (2,000円～2,999円)	会員数	279世帯	296世帯	306世帯
		会費	558,000円	592,000円	612,000円
	特別会員 (3,000円以上)	会員数	169世帯	187世帯	176世帯
		会費	564,000円	681,000円	616,000円
	合計	会員数	7,742世帯	7,833世帯	8,034世帯
		会費	8,307,204円	8,534,278円	8,684,785円
法人会員 (3,000円以上)	会員数	118団体	102団体	53団体	
	会費	586,330円	555,770円	324,000円	
会費合計			8,893,534円	9,090,048円	9,008,785円

世帯（個人）の会員の地区別実績

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	会員数 (世帯)	会費 (円)	会員数 (世帯)	会費 (円)	会員数 (世帯)	会費 (円)
ちの	1,381	1,542,722	1,394	1,588,724	1,462	1,650,342
宮川	1,463	1,587,030	1,446	1,581,130	1,509	1,645,659
米沢	443	473,900	440	481,450	437	475,800
豊平	897	933,900	917	951,500	940	978,900
玉川	1,588	1,637,820	1,609	1,701,431	1,655	1,714,744
泉野	344	361,132	358	377,460	343	361,740
金沢	467	506,250	490	525,000	499	533,300
湖東	413	440,950	438	473,283	454	483,550
北山	502	537,000	506	537,500	510	540,500
中大塩	244	286,500	232	306,800	224	295,250
地区外	0	0	3	10,000	1	5,000
合計	7,742	8,307,204	7,833	8,534,278	8,034	8,684,785

(ケ)寄附の受付

寄附金や遺志金、寄附物品を受付、寄附の記録を行い適正に管理しました。

寄附の実績

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
寄附金	32	17,006,576	26	2,253,885	24	1,855,535
遺志金	9	740,000	0	0	1	1,000,000
寄贈(1)	1	1,600,000	0	0	1	100,000
その他の寄附(2)	67		44		48	
合計	109	19,346,576	70	2,253,885	74	2,955,535

(1) 会計処理が必要な100,000円以上の寄贈品の相当額

(2) 食料品、清拭布、紙おむつ、生理用品等の寄附

(コ)税額控除対象法人証明の申請

租税特別措置法に規定する個人寄附者に対する所得税の税制優遇措置として「税額控除制度」が、茅野市社協への寄附金・社協会費にも適用されるよう、税額控除対象法人の証明を所管庁である茅野市から受けました。

税額控除制度は、小口寄附の寄附者への減税効果が高く、新たな寄附者やこれまで以上に多くの寄附金を支出する寄附者が増えることが期待されます。

- ・ 証明書交付日：令和5年2月1日
- ・ 有効期間：令和5年2月1日～令和10年1月31日
- ・ 控除額の計算：(税額控除対象寄附金 - 2,000円) × 40%

広報・啓発事業

令和4年度決算	580,000円	(前年度比 - 155,000円)
令和3年度決算	735,000円	

(ア)広報紙の発行

広報紙「やらざあ」の年6回の定期発行を通じ、社協活動や地域福祉活動の情報発信を行いました。市民に伝わりやすい紙面となるよう「やらざあ編集委員会」で検討を重ね発行しました。

号	特集記事・主な内容
4月号	コロナ禍でのボランティア、福祉教育の紹介、赤い羽根共同募金の報告
6月号	サマーチャレンジの案内、茅野市社協事業計画と予算
8月号	日中一時支援事業の紹介、茅野市社協事業報告と決算
10月号	宮川土石流災害から1年、赤い羽根共同募金を活用した地域活動の紹介
12月号	フードドライブの紹介、社協会費の報告
2月号	宮川ドリームゼミの紹介、社会福祉大会の報告

(イ)ホームページ等による情報の発信

ホームページを随時更新し、タイムリーな情報提供に努めました。

令和4年度は、「やらざあ」に掲載した記事の内容を動画として作成、Facebook への投稿を行い積極的な情報発信に努めました。

(ウ)第59回茅野市社会福祉大会の開催

社会福祉大会は、茅野市の保健・医療・福祉・教育等の関係機関や団体、一般市民が一堂に集まり、お互いの活動の理解や交流を通じて連携強化を図ることを目的に開催します。

3年振りに対面により開催しました。

開催日	内容
11月27日(日)	テーマ:「ともに生きる豊かな地域社会の実現をめざして」 会場:茅野市ひと・まちプラザ 3階集会室 第1部:社会福祉貢献者表彰 第2部:基調報告「高部区土石流災害の振り返り」 報告 武澤 一枝 地域福祉活動推進係長 鼎 談「新しいつながり方による未来に向けたコミュニティづくり」 登壇 高木 宏明氏、半田 晴奈氏、今井 敦会長 参加者:地区関係者・表彰者・理事・評議員・職員 約70人

(エ)表彰関係(表彰審査委員会)

茅野市社会福祉協議会表彰規程に基づき表彰審査委員会を開催し、表彰者を選考、社会福祉大会において表彰を行いました。

開催日	表彰等対象者
9月20日(火)	表彰の対象 ・地区社協会長として4年以上在籍し退任した者(第2条第4号) 1名
	感謝の対象 ・本会の社会福祉事業のため10万円以上相当額の金品を寄附した者(第3条第1号) 4名 (4団体)
	・本会の賛助会員又は特別会員として通算10年以上会費を納めた者又は団体(第3条第3号) 12名
	・本会の社会福祉事業で功績が特に顕著と認められる者又は団体(第3条第4号) 1名 (1団体)

(2) 小地域福祉活動推進・支援事業

「誰もが心豊かに安心して暮らせる支え合いのまち」を目指して、身近な地域で支え合える地域づくりの推進に取り組みました。また、積極的なアウトリーチを行い、地域住民や民生児童委員、福祉推進委員等からの相談に対応し、生活課題等を解決できるよう支援を行いました。

小地域福祉活動推進事業

令和4年度決算	46,097,942 円	(前年度比 - 3,567,046 円)
令和3年度決算	49,664,988 円	

(ア) 地区社会福祉協議会活動の支援

住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援に取り組みました。

主な活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ・第3次地区地域福祉行動計画の推進 ・地区ボランティア活動費、福祉推進委員活動費の助成 ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催 ・戦没者等追悼式の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙の発行 ・高齢者等の昼食会や配食、世代間交流活動 ・赤い羽根共同募金活動 ・社協会費収納協力 ・生活支援体制整備事業への参画 など
--	---

(イ) 福祉推進委員活動の支援

地域における支え合い活動をはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しました。

活動内容

項目	開催日・回数	主な内容
茅野市福祉推進委員研修会の開催	2月19、26日 (計3回開催)	基調説明 1. 「地域で進めるあたかなまちづくり ~ 福祉推進委員って何? ~」 【茅野市地域福祉課】 2. 「福祉推進委員が地域みなさんとともに進める地域のふくし ~ 福祉推進委員の取組と活動支援について ~」 【茅野市社会福祉協議会】
福祉推進委員連絡会の開催	15回	活動や課題の情報交換、各地区の講演会、研修会の開催支援
各区・自治会の取り組みへの支援	41回	地域懇談会の開催支援、支え合いマップづくりの支援、福祉活動、支え合い活動への取組支援

(ウ)住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

コミュニティソーシャルワーカーがひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問し、支援を必要とする人の存在とその課題の早期発見、また、課題を抱えた人が必要なサービスを利用しやすくするための援助など課題解決に向けて取り組みました。

活動内容

項目	件数
個別訪問活動と相談・支援	4,752件
個別の相談・支援に関わる連携	3,984件
地域福祉活動への支援	671件

(I)「こんにちは！社協です！」の発送

市内のひとり暮らし高齢者を対象に、孤独感の解消、安否確認、情報提供、ニーズ把握を目的に年4回発送しています。市内郵便局と連携することで、地域の見守りや安心なまちづくりの充実を目指しています。

郵便局員に対象者へお便りの手渡しと声かけを依頼するとともに、配達時に気づいたことや心配なことがあった場合は、担当のコミュニティソーシャルワーカーへ情報を伝えていただいています。

発送実績

発送月	4月	7月	10月	1月	総数
発送数	426通	421通	431通	435通	1,713通
郵便局員からの情報数	1件	7件	3件	8件	19件

(オ)茅野市社協「かわら版」の活用と管理

市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置された掲示板「かわら版」を活用して、ボランティア活動や地域福祉活動の情報を発信しました。

(カ)生活支援体制整備事業

茅野市高齢者・保険課や地区コミュニティセンター、保健福祉サービスセンターと協力しながら、地域で高齢者が自立した日常生活を送るためのサービスの検討や高齢者への見守りや支え合い等の活動の支援を行いました。

地域の現状や課題を共有し、今後、地域が目指す姿や地域の支え合いのためにできることなどを話し合う地域懇談会を開催しました。諏訪中央病院の医師や専門職をはじめ、区長・自治会長、福祉推進委員等と協力して行い、コロナ禍での生活や健康面への不安、自分たちの地域のこれかなど、地域の現状を共有しながら地域の課題について話し合う機会となりました。また、地域の支え合い活動の取組周知を目的に「広報ちの」で活動の特集し掲載しました。

主な活動内容

- ・地域懇談会の開催
- ・生活支援サービス開発への相談、支援
- ・事業や生活支援コーディネーターの役割の周知と広報
- ・地域における支え合い活動の情報収集と情報発信

(キ)新型コロナウイルス感染症濃厚接触者等への生活必需品購入支援

茅野市内在住の新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等のうち、家族、親族、知人等による支援を受けることが困難な方に、生活必需品購入の支援を行いました。

福祉団体助成事業

令和4年度決算	3,107,140円	(前年度比 -47,416円)
令和3年度決算	3,154,556円	

(ア)福祉団体助成

地域における社会福祉活動を推進するため、茅野市内で地域福祉活動を行う関係団体に対し、助成金を交付しています。

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響による活動自粛もあり、2団体のみでの交付となりました。

助成団体	助成金額
茅野市社会を明るくする運動実施委員会	80,000円
茅野南諏分区保護司会茅野市支部	45,000円

(イ)社協会費交付

社協会費実績の20%分と地区団体への助成金分を合わせて、交付金を地区社協へ交付しました。

地区	交付額	地区	交付額
ちの	477,744円	泉野	166,726円
宮川	411,806円	金沢	176,250円
米沢	236,780円	湖東	217,990円
豊平	426,580円	北山	275,000円
玉川	536,164円	中大塩	57,100円
交付額合計			2,982,140円

(3) 相談・生活支援事業

市民からの様々な相談に応じて、公的制度では十分に対応することができないニーズに対する支援を実施しました。特に新型コロナワクチン接種の送迎にあたっては、移送サービス事業の実績を活かして、スムーズに対応することができました。

総合相談事業

令和4年度決算	220,000円	(前年度比 +10,000円)
令和3年度決算	210,000円	

(ア) 心配ごと相談

福祉・生計・住宅・家族その他の心配ごとの相談に応じ、悩みや問題を傾聴する中で、心の整理の糸口を探します。また必要に応じ、社協の法律相談などの専門相談窓口への紹介や他の専門機関への橋渡しをしています。令和2年度から職員が相談対応にあたっています。

- ・開設日時：毎週金曜日 午前9時～正午
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：社協職員（生活支援サービス係員） 4名

相談件数

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開設日数	50日	34日	44日
相談件数	19件	21件	22件

(イ) 結婚相談

相談員が結婚を希望される方の相談に応じて、登録者の中から一緒にお相手を探します。

- ・開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：委嘱した結婚相談員 7名

相談実績等

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数（新規）	男性	43人（14人）	67人（16人）	64人（17人）
	女性	17人（7人）	26人（3人）	31人（13人）
	合計	60人（21人）	93人（19人）	95人（30人）
相談件数	男性	40件	54件	74件
	女性	15件	26件	42件
	合計	55件	80件	116件
本人来所率		94.5%	91.3%	97.4%
成婚数		1件	1件	0件

(ウ) 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行っています。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会場：茅野市ひと・まちプラザ社協相談室
- ・相談員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）

相談件数

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
開設日数		9日	11日	10日
相談件数		22件	28件	29件
対応	解決	14件	25件	22件
	他機関を紹介	2件	2件	4件
	その他	6件	1件	3件

シャララ・ほっとサービス事業

令和4年度決算	581,290円	（前年度比 - 95,710円）
令和3年度決算	677,000円	

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的位置付けとして、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員として登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

令和4年度利用実績

	高齢者世帯	障害者のいる世帯	子育て中の世帯
状況	足腰の悪い方、力仕事が困難な方、認知症、入院中・寝たきり、退院後間もない方など	心の病（うつ病、統合失調症等）を持つ方、視覚障害の方、車椅子の方、難病の方など	療養中の母親の家事支援など
援助内容	掃除、入院中の洗濯、食事作り、買い物、洗濯、話し相手、院内介助、可燃ごみ出し、散歩介助など	掃除、院内介助、入院中の洗濯、リサイクルごみ分別出し、買い物、話し相手など	療養中の母親の掃除、洗濯、調理など
利用世帯数	27世帯	7世帯	2世帯
利用回数	335回	92回	7回
延べ利用時間	387時間	121時間	10時間

登録状況

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用会員数（新規）	51人（17人）	33人（11人）	27人（15人）
協力会員数	19人	18人	17人

ひとり暮らし安心コール事業

令和4年度決算	158,000円	（前年度比 - 22,000円）
令和3年度決算	180,000円	

ひとり暮らし高齢者と定期的に電話によるコミュニケーションをとることにより、電話をした時点での利用者の安否確認、健康状態及び生活状況の確認をするとともに、孤独感の解消を図り、情報をキャッチする場となり、もって利用者の在宅生活の向上を図ることを目的として実施しました。

- ・事業内容：最大週2回利用者の希望する曜日の時間に協力員より電話をかける
- ・協力員：9名（令和5年3月31日現在）
- ・対象者：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者

利用実績等

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	17人	18人	21人

令和4年度通話実績（不在回数除く）

（回）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	64	64	63	64	68	67	65	52	67	66	57	70	777

一般介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス）

令和4年度決算	17,533,450円	（前年度比 - 513,314円）
令和3年度決算	18,046,764円	

要介護状態等になるおそれの高い高齢者が要介護状態になるのを予防することを目的に高齢者福祉センター塩つぼの湯において通所型の介護予防事業を行っており、送迎・昼食・相談・運動や脳トレ、レクリエーション等の介護予防メニュー、看護師による運動機能評価や個別指導を実施しています。

- ・実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）
- ・利用時間：午前9時30分～午後2時30分

利用状況

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延利用者数	2,133人	1,812人	1,036人

令和4年度利用状況

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録者数	56	55	54	54	52	52	51	50	49	49	49	52	/
延利用者数	188	166	202	184	176	182	178	173	170	155	161	198	

外出支援事業（移送サービス）

令和4年度決算	6,363,351円	（前年度比 + 634,419円）
令和3年度決算	5,728,932円	

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

運行協力員15名とタクシー業者2社により実施しました。

また、安全に運行するため、運行協力員は運転者講習会に参加しています。（11月16日、18日、25日、参加者:10名）

利用実績等

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	33人	34人	30人
新規利用者数	7人	13人	9人
延利用件数	2,670件	2,374件	2,229件

令和4年度利用状況

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延利用者数	173	145	237	233	216	268	240	237	239	221	223	238	2,670

配食サービス事業（おたっしゃ弁当）

令和4年度決算	15,782,026 円	（前年度比 - 334,801 円）
令和3年度決算	16,116,827 円	

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

- ・ 弁当代：570円（内個人負担350円）、おかずのみ：520円（内個人負担300円）
- ・ 委託業者：信州配食サービス

利用実績等

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
延利用者数	2,901人	2,922人	2,786人
新規利用者数	56人	117人	148人
延配食数 （おかずのみ）	60,241食 （29,697食）	60,992食 （31,430食）	58,316食 （32,081食）

令和4年度利用状況

利用者（対象者）数	人 数		
	昼	夕	合計
65歳以上の独り暮らしの方	754人	381人	1,135人
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	333人	331人	664人
ひとり暮らしの障害者	54人	170人	224人
寝たきりの人がいる2人世帯	0人	0人	0人
その他 昼間は高齢者のみとなり、調理が困難な方	254人	167人	421人
その他 昼間は障害者のみとなり、調理が困難な方	67人	55人	122人
その他	113人	222人	335人
合 計	1,575人	1,326人	2,901人

対象者別の状況

対 象	利用時間	食 数	合計
障害者	昼	3,377食	10,287食
	夜	6,910食	
高齢者	昼	28,620食	49,954食
	夜	21,334食	

新型コロナワクチン接種送迎サービス事業

令和4年度決算	4,400,000円	(前年度比 - 1,335,431円)
令和3年度決算	5,735,431円	

自家用車の運転ができず、家族による送迎ができない方、公共交通手段を利用できない方を対象に、新型コロナワクチン集団接種会場への送迎サービスを実施しました。事前予約制とし、運転は外出支援事業（移送サービス）の運行協力員が行いました。

- ・実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日
- ・利用人数 182名
- ・利用件数 161件

(4) 権利擁護事業

日常生活自立支援事業

令和4年度決算	2,151,573円	(前年度比 - 184,942円)
令和3年度決算	2,336,515円	

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は原村を管轄する基幹の社協に位置付けられています。

茅野市社協では、担当職員（専門員）のほか、生活支援員を茅野市1名、原村1名の計2名を配置しています。生活支援員は、利用者の訪問を中心に預貯金の払い戻しや福祉サービスの利用料等の支払い、金銭の受け渡し等の実務を行い、専門員と連携しながら利用者の抱える課題の解決を図ると共に、事業の普及・啓発に努めています。

利用実績等

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
利用援助回数	737件	783件	792件
契約件数()	26件	35件	34件
茅野市	24件	33件	32件
原 村	2件	2件	2件
新規契約件数	1件	3件	6件
解約数	10件	2件	8件

契約件数は、各年度3月31日現在の件数

法人後見事業

令和4年度決算	1,065,030 円	(前年度比 +240,000 円)
令和3年度決算	825,030 円	

茅野市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務（財産管理や身上監護）を行い、高齢者や障害者の権利擁護を図ることを目的に支援活動に取り組みました。

利用実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
法人後見件数	6件	6件	5件
うち新規受任件数	0件	1件	2件
うち後見終了件数	1件	0件	0件
後見活動内容	日常生活に係る金銭管理、入院時の日用雑貨購入等に伴う金銭管理、施設入所契約 ほか		

茅野市・原村成年後見支援センター

令和4年度決算	9,047,000 円	(前年度比 +1,441,000 円)
令和3年度決算	7,606,000 円	

判断能力が十分でない知的障害者及び精神障害者（認知症高齢者を含む）が住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう、成年後見制度の普及、啓発、相談、その他、円滑な制度利用促進のための支援等を行っています。

利用実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	98件	348件	474件
新規	25件	50件	82件
継続	73件	298件	392件
審判申立支援件数	8件	14件	7件
審判確定	4件	6件	3件
継続相談	4件	8件	4件
後見人候補者調整件数 (法定後見選任)	3件 (3件)	6件 (6件)	5件 (5件)

会議・研修等

会議・研修	開催日・回数
諏訪圏域成年後見制度利用促進体制整備の推進に係る関係者会議	5/30・2/3
諏訪圏域成年後見支援センター連絡会	12回
成年後見制度利用促進に基づく中核機関の受任調整会議	7/11
上伊那成年後見支援センター視察研修	9/28
成年後見制度利用促進体制整備研修	6回

(5) 生活困窮者支援事業

新型コロナウイルスの影響で社会生活が大きく変化する中、引き続き就労収入の減少による生活費の貸付相談が多く寄せられました。また、コロナ特例貸付の終了後は、通常的生活福祉資金の貸付相談が増えています。今後は特に家計改善など、借受世帯に対する生活支援が重要になります。

生活福祉資金貸付事業

令和4年度決算	3,293,500円	(前年度比 - 541,700円)
令和3年度決算	3,835,200円	

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯を対象に生活福祉資金の貸付を行い、世帯の自立を支援しました。

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯への貸付申請（緊急小口資金）、新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯への貸付申請（総合支援資金）を受け、長野県社協へ進達しました。

茅野市地域福祉課に設置されている「まいさぼ茅野市」の相談員と連携し、償還指導および家計相談支援を毎月実施することで、借受者の家計改善に努めました。

また、生活福祉資金貸付事業の担当者会議や研修会への参加、支援機関との連絡会に出席し、職員のスキルアップや支援体制の充実に努めました。

貸付実績

資金名	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)
総合支援資金	3件	254,000円	0件	0円	0件	0円
福祉費	2件	2,550,000円	0件	0円	1件	815,000円
緊急小口資金	3件	254,000円	1件	100,000円	0件	0円
教育支援資金	1件	907,000円	0件	0円	0件	0円
合計	9件	3,965,000円	1件	100,000円	1件	815,000円

コロナ特例貸付実績

資金名	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)	件数	金額(元金)
総合支援資金	15件	7,050,000円	62件	26,100,000円	102件	43,520,000円
延長			6件	6,060,000円	9件	3,720,000円
再貸付			20件	895,000円	1件	420,000円
緊急小口資金	16件	2,200,000円	71件	11,200,000円	225件	35,180,000円
合計	31件	9,250,000円	159件	44,255,000円	337件	82,840,000円

暮らしのつなぎ資金貸付事業

令和4年度決算	40,000円	(前年度比 +31,000円)
令和3年度決算	9,000円	

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時的な生活のつなぎ資金を必要とする場合に短期の無利子融資を行い自立を支援しています。

- ・貸付限度額：40,000円
- ・返済期間：6ヶ月以内

貸付実績

資金名	令和4年度貸付		令和3年度貸付		令和2年度貸付	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	1件	40,000円	0件	0円	1件	39,000円

生活困窮者自立支援事業

令和4年度決算	11,012,496円	(前年度比 +912,818円)
令和3年度決算	10,099,678円	

生活困窮者自立支援法に基づき茅野市地域福祉課に設置している「まいさぼ茅野市」に2名の職員が出向し、生活困窮者の相談支援業務に従事しています。

また、家計改善事業を茅野市から受託し、家計に課題を抱える対象者の相談支援の実施、長野県社協が実施する『あんしん創造ねっと』に加入し、各種事業の利用により既存の制度やサービスでは対応できない個別課題に対する支援を実施しました。

家計改善支援事業実績

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
支援世帯数	9世帯	13世帯	5世帯

あんしん創造ねっと利用実績

事業	令和4年度	令和3年度	令和2年度
入居保証・生活支援事業	5件	4件	2件
身元保証・就労支援事業	0件	0件	0件
医療受診支援事業	1件	0件	2件
買い物等同行支援事業	0件	0件	1件
地域受民との協働活動支援事業	0件	0件	0件

『一握りのお米 支援米』の取り組み

不況やリストラ、倒産などの影響から野宿生活を余儀なくされている方々等を支援するため支援米を募り、各支援団体にお送りしました。また、様々な事情により生活に困窮する市民に配分するため、お米の一部を備蓄しています。

- ・取組期間：10月3日から12月2日まで
- ・支援米：1,793kg（前年度比133%）
- ・その他：野菜等
- ・ご協力いただいた方々：2団体、41個人
- ・送付先：SOSネットワーク諏訪（下諏訪町） 長野きずな村実行委員会（長野市）
児童養護施設つつじが丘学園（岡谷市） かふえ天香（市内子ども食堂） 市内の生活困窮者（社協備蓄分）

フードドライブの取り組み

家庭で使いきれない未使用食品（缶詰、レトルト食品、乾物、調味料、菓子等）をまとめて社協へ寄付いただきました。寄付いただいた食料は、市内の生活に困窮する世帯、まいさば茅野市へ配布しています。

フードドライブ実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
個人	35人	12人	1人
団体・企業等	7団体	2団体	2団体
寄附品数	563品	1,447品	720品

(6) ボランティア・市民活動推進事業

茅野市社協ボランティアまちづくりセンター事業

令和4年度決算	552,618 円	(前年度比 +255,100 円)
令和3年度決算	267,518 円	

「地域を育む」という意識を持って、誰もがお互いに支え合える地域づくりを推進していくため、ボランティア・まちづくりの推進、福祉教育の推進に向けた取組を行いました。

「ふくし」を我が事として考えるきっかけづくりとして、学校や地域における福祉教育を実施しました。また、ボランティア活動団体や活動者からの悩みや相談に応じながら、活動状況を把握し、活動の継続や活性化への支援に取り組みました。

(ア) 出前福祉教室

高齢者や障害のある方との交流や、車いすやアイマスク体験、疑似体験等を通して、児童や生徒、先生方と一緒に『ともに生きること・ともに学びあうこと』を考えていただくことを目的に、市内の小学校・中学校・高等学校で出前福祉教室を実施しました。

開催実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
開催数	29 回	29 回	28 回
開催学校数	7 校	7 校	7 校
延参加者数	725 人	538 人	668 人

(イ) 社会福祉普及校指定事業

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てるとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的として、各校に 30,000 円の補助金を交付しました。

令和4年度 各校の活動内容

学校名	活 動 内 容
永明小学校	学年の異なる友だちとの交流を通し、人とのふれあいの楽しさや、相手の立場に立って考えることの大切さに気づくとともに、交流の手段を学び、福祉についての知識を増やす。
宮川小学校	募金活動を通して、児童・家族が福祉に関心を持てるようにするため、福祉ボランティア委員が全校に募金活動を呼びかけ、募金活動を実施した。
米沢小学校	聴覚障害の方との交流を通じて障害者への理解を深め、人間の多様性を認め合う気持ちを持つ。特別支援学級の児童が自立活動で制作した物品の PTA への販売を通して、人と関わるスキルを身につける。北部中学校区の子もたちと交流し、お互いのことを知る。
豊平小学校	ボランティア委員が企画し、様々な障害者体験やニュースポーツ体験をすることを通して、障害者への理解を深める。

学校名	活 動 内 容
玉川小学校	花を育てる活動を通して、命を育む大変さと喜びを体感する。育てた花をたくさんの人に届ける活動を通して、コロナ禍や戦争で苦しんでいる人たちへの理解を深め、思いを寄せる。
泉野小学校	募金活動、書き損じハガキ収集、友だちが笑顔になるメッセージの掲示。視覚障害、聴覚障害、高齢者や災害時の避難所について考える学習・交流を、出前福祉教室を活用して行った。
金沢小学校	視覚障害、聴覚障害、身体障害者の方との交流を通して相手の困り感を知り、自他共に大切にできる子どもを育てる。児童会が企画・運営したゲームで相手の立場で考え、相手の人権を大切に活動する心情を育てる。花を育て、教室の環境を整えると共に相手を大事に思う気持ちを育てる。
湖東小学校	出前福祉講座を活用して車いす、アイマスク、ガイドヘルプの体験や障害のある方や高齢者との交流等を通じて、思いやりや助け合いの気持ちを育み、「共に生きる」ことの意味について考える。
北山小学校	特別支援学級児童と参観日に来校した保護者との交流。全校児童と支援学級児童との交流。聴覚障害の方の講話や交流を通して、障害について関心を持ち、理解を深めた。
永明中学校	性教育、福祉と介護、ジェンダーフリーの講演会を開催。講演を通して、性の多様性、偏見や差別の実態を知り、命の尊さや自他の多様性を認め、お互いを大切にする気持ちを養う。
長峰中学校	校地内及び校地隣接地域の奉仕活動(ゴミ拾い、環境整備等) 花壇づくり、水やり、花壇の片づけを地域の方と一緒にいき、進んで地域に奉仕しようとする態度を養う。
北部中学校	オリンピック・パラリンピックについて講義とパラスポーツ体験を通して、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解を深める。オリンピック・パラリンピックについての講義とパラスポーツ体験を行った。
東部中学校	石巻市との交流活動として東中だよりの発送。ポッチャの体験を通して、パラスポーツに関心を持つきっかけにし、障害者福祉についての意識を高める。ボランティア委員呼びかけによる一人暮らし高齢者へのお便り(ぬくもりレター)の作成。ユニバーサルデザイン紹介と体験で、身近なユニバーサルデザインへの関心を高めるとともに、障がいがある方との関わり方を考える。
茅野高校	高齢者社会福祉施設の利用者との交流を通して、コミュニケーション能力や他者への思いやりの心を高め、対人援助の基本的な知識を学ぶ。手作りのフラワーアレンジメントにメッセージを添えて施設利用者の方に渡し、交流を図った。
小学校 9 校、中学校 4 校、高等学校 1 校	合 計 14 校 参加者総数 3,794 名

(ウ)夏のボランティア体験「サマーチャレンジ2022」

ボランティアへの正しい理解と関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的に、小学校5年生以上を対象に、夏休みを利用して市内の福祉施設等でボランティア体験を実施しています。

8月18日(木)までを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となりました。写真洗浄ボランティアのみ、11月にサマーチャレンジ申込者6名に協力いただき実施しました。

開催実績等

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
参加者数	71人	50人	中 止
小学生	3人	3人	
中学生	44人	29人	
高校生	18人	17人	
大学生等	6人	1人	
協力施設数	30施設	25施設	

令和3年度、4年度は、中断・中止に伴い申込者数を記載

(I)ボランティア活動支援

地区(区・自治会)では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、様々なボランティア活動が行われています。高齢者等のご自宅を訪問し、お弁当やお菓子を渡しながら住民同士が交流する宅配事業などコロナ禍での新たな活動が広がっています。

地区のボランティアの会が主催する会議やサロン、宅配事業等に参加し、活動の把握と活動の継続や活性化への支援に取り組みました。

活動実績

(回)

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	地区	区 自治会	地区	区 自治会	地区	区 自治会
総会・役員会等の開催	21	3	21	24	16	8
いきいきサロンの開催	0	9	11	3	12	3
宅配(配食)弁当・菓子配布	2	14	8	14	6	1
研修・学習会の開催	2	0	1	1	0	0
世代間交流会の開催	0	0	0	1	0	0

(オ) 諏訪ブロック社会福祉協議会 ボランティア交流研究集会

ボランティア活動者同士のつながりや、ボランティア活動の活性化を目的に6市町村社協で毎年開催しています。令和4年度は岡谷市を会場に開催されました。地区や各行政区のボランティアの会、市内のボランティア活動団体に参加していただき、ボランティア同士のつながりを深めました。

実施日	会場	参加者	内容
12月3日(土)	諏訪湖ハイツ	69名(6市町村 延人数)	「ポッチャで地域を元気に」をテーマに、市町村別11チームによるリーグ戦での交流

(カ) ボランティア・市民活動助成金の交付

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。

交付実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
申請団体数	20団体	25団体	28団体
交付決定額	702,600円	887,000円	938,640円

(キ) どっこいしょ広場の運営管理

市民が自由に集える場所として、平成14年3月にベルビア1階に開設されたどっこいしょ広場を、気持ち良く使っていただくため、運営管理を行っています。令和4年度は、「ボランティアグループどっこいしょ」が年間を通して月1回の活動を続けています。また、掲示板やカタログスタンドを活用して、ボランティア活動・市民活動の情報発信が行われています。

(ク) ボランティア活動相談・コーディネート

市民やボランティア・市民活動団体などからの相談に対し、情報提供や助言、ゆいわーく茅野など関係機関へのコーディネートを行いました。

相談実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談件数	40件	17件	54件

備品の貸し出し状況

備品名	貸出件数
福祉教室用福祉用具(高齢者疑似体験セット・アイマスク・点字器セットなど)	27件
福祉ゲーム(HUG・クロスロード・ジェスチャーゲームカード)	10件
電気機器(リズムボックス・ピンマイク・プロジェクター・ハンズフリー拡声器)	20件
車いす	77件
その他(テント、布ボール、松葉杖)	2件

市民活動センター事業

令和4年度決算	7,160,776 円	(前年度比 - 5,529,224 円)
令和3年度決算	12,690,000 円	

ゆいわーく茅野に常駐する茅野市社協職員が、市民、行政と協働することで、福祉分野を含んだボランティア活動や市民活動が広がるよう総合的な支援に取り組みました。

また、ボランティア活動者が安心して活動に取り組めるよう、ボランティア保険の加入促進を図りました。

主な活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動・ボランティア団体及び活動者への支援 ・ 市民活動・ボランティア活動者向け講座の企画、開催 ・ 諏訪東京理科大学出前講座 ・ ボランティア保険加入、保険請求事務 ・ 傾聴ボランティア相談、コーディネート

ボランティア保険加入・保険請求の状況

	件数	人数
保険加入	180件	5,393人
保険請求（保険金給付）	1件（1件）	-

(7) 共同募金配分事業

令和4年度決算	4,302,774 円	(前年度比 - 184,200 円)
令和3年度決算	4,486,974 円	

赤い羽根共同募金運動の募金実績により、地域助成として長野県共同募金会から茅野市社協に交付された配分金を、地域の福祉活動に還元（配分）しています。

配分実績

配分先	令和4年度	令和3年度
茅野市社会福祉協議会	1,071,400 円	1,003,000 円
小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動	420,000 円	450,000 円
地区社会福祉協議会（10 地区）	2,073,774 円	2,146,974 円
市内ボランティアグループ	702,600 円	817,000 円
災害義援金	35,000 円	70,000 円
合計	4,302,774 円	4,486,974 円

2 居宅介護等事業

(1) 居宅介護支援事業

令和4年度決算	12,103,431 円	(前年度比 - 496,812 円)
令和3年度決算	12,600,243 円	

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅での生活を送れるよう支援しました。

居宅介護支援実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
居宅介護支援	858 件	675 件	754 件
介護予防支援	108 件	31 件	60 件
合計	966 件	706 件	814 件

月別状況

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅介護	67	71	71	71	68	68	82	82	78	70	66	64	858
介護予防	9	9	8	9	7	7	9	9	11	10	10	10	108
合計	76	80	79	80	75	75	91	91	89	80	76	74	966

(2) 訪問介護事業

令和4年度決算	38,469,344 円	(前年度比 - 12,819,533 円)
令和3年度決算	51,288,877 円	

訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し、「訪問介護計画書」に沿って安心して在宅生活を送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

介護保険(訪問介護)実績

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
要介護	実人数	47 人	52 人	53 人
	延利用者数	6,827 人	7,035 人	9,358 人
要支援	実人数	23 人	22 人	21 人
	延利用者数	1,451 人	1,578 人	1,548 人

実人数は各年度の各月の平均人数(小数点以下四捨五入)

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	47	47	52	47	46	45	49	50	50	45	41	45	
	延利用	565	565	622	597	575	594	628	595	569	548	431	538	6,827
要支援	実人数	21	21	19	19	19	21	22	23	26	30	25	27	
	延利用	128	119	97	92	104	102	100	128	141	152	127	161	1,451

障害者サービス実績(延利用者数)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
居宅介護	164人	156人	145人
同行援護	14人	24人	24人
移動支援	0人	0人	8人

(3) 西部デイサービス事業

令和4年度決算	52,581,583円	(前年度比 -1,953,330円)
令和3年度決算	54,534,913円	

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。

西部デイサービスセンター利用実績

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
要介護	実人数	49人	48人	45人
	延利用者数	4,227人	4,545人	4,459人
要支援	実人数	8人	11人	11人
	延利用者数	499人	733人	760人

実人数は各年度の各月の平均人数(小数点以下四捨五入)

月別状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護	実人数	50	56	51	54	48	50	50	54	45	42	44	46	
	延利用	366	405	404	391	400	377	386	393	177	281	286	361	4,227
要支援	実人数	9	7	6	6	5	5	6	8	10	10	10	9	
	延利用	62	43	32	33	36	27	30	49	34	54	48	51	499

主な行事

4月	お花見 / 御柱屋敷見学	9月	敬老会
7月	納涼会	12月	忘年会

3 障害福祉サービス事業

(1) 障害者相談支援事業

令和4年度決算	1,956,500 円	(前年度比 - 321,580 円)
令和3年度決算	2,278,080 円	

諏訪圏域にお住いの障害者・障害児やその家族、市町村、病院等から障害福祉サービスの利用について相談を受けています。また、障害福祉サービスを利用される方には、その方のニーズに合った利用計画を作成します。必要な障害福祉サービスを利用できるように、ご本人や関係者が一堂に会しサービス調整会議を行い、利用開始後は数か月に1度、モニタリング会議を行って障害福祉サービス利用の振り返りを行います。

相談支援実績

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
相談契約者数	48 人	50 人	48 人
障害者	40 人	39 人	37 人
障害児	8 人	11 人	11 人
計画作成・モニタリング件数	128 件	142 件	129 件

(2) 就労継続支援B型事業(あすなるセンター)

令和4年度決算	38,414,165 円	(前年度比 + 8,694,865 円)
令和3年度決算	29,719,300 円	

あすなるセンターにおいて、障害のある方で雇用契約に基づく就労が困難である方に就労の場として様々な作業を提供しています。また、社会生活の場を広げ、地域の方との交流や季節に合わせた余暇活動など提供しています。さまざまな活動を通して仲間との関わりや交流を深め、生活習慣の改善や心身上等身体機能の保持を目指した活動を行いました。

安定した施設の運営のため給付金収入を確保するには、前年度の利用者の月額工賃を維持または増額となるように努めることも大切ですが、ご家族支援や他のサービスを併用する必要もあり、1日当たりの通所者数が減少しない工夫が求められます。

利用実績(定員20名)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
登録者数	20 人	18 人	19 人
延利用者数	216 人	216 人	241 人

登録者数は各年度の3月31日現在の人員数

主な作業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ボカシ製造・販売 ・寒天袋詰め作業 ・ゴム製品の袋詰め ・薪の箱詰め ・にんにくの皮むき作業 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪合同庁舎清掃 ・上古田区公民館清掃作業 ・赤い羽根作業 ・介護お役立ちガイドブック印刷・製本
---	--

就労支援事業の状況

		令和4年度	令和3年度	令和2年度
取引業者数		14 事業者	12 事業者	14 事業者
事業収支	総収入額	3,469,809 円	2,735,057 円	4,573,616 円
	必要経費	875,172 円	176,360 円	253,442 円
	実質収入額	2,594,637 円	2,558,697 円	4,320,194 円
平均工賃（月額）		12,012 円	12,013 円	9,235 円

主な行事

5月	昼食会	12月	クリスマス会
7月	納涼祭・避難訓練	1月	昼食会
9月	昼食会	3月	昼食会
10月	ミニ運動会		

(3) 日中一時支援事業

令和4年度決算	172,526 円 （令和4年度新規事業）
---------	-----------------------

一時的に見守り等の支援が必要な障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護しているご家族の一時的な休息を目的に令和4年6月から事業を開始しました。

事業に携わる支援員を地域の方をお願いすることで、あすなろセンターと地域を結びつけながら事業を展開しました。

利用実績

実人数	4 人
延利用者数	58 人

4 その他事業

(1) 赤い羽根共同募金

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

茅野市共同募金委員会の運営

(ア) 運営委員会の開催

開催日	出席数	主な内容	備考
6月9日(木)	34()	・令和3年度事業報告・決算 ・運営委員の選任	新型コロナ感染対策により書面開催
9月9日(金)	29()	・運営委員の選任 ・令和4年度赤い羽根・歳末助け合い募金の要領について	新型コロナ感染対策により書面開催
3月7日(火)	32	・令和5年度事業計画・予算 ・運営委員の選任	

書面による議案承認件数

(イ) 定例監査の実施

5月24日(火)	令和3年度の事業報告及び決算について
----------	--------------------

(ウ) 高額募金・永年募金者の表彰

高額募金	個人：4人、団体：2団体
永年募金	48団体

赤い羽根・歳末助け合い募金運動

・募金期間：10月1日～12月31日

募金実績

令和4年度	令和3年度	令和2年度
7,725,208円	7,880,774円	8,037,974円

災害援護金の交付

市内で発生した火災・風水害等で住家が半焼、半壊、床上浸水以上の被害を受けた世帯に、お見舞いとして災害援護金を交付しました。

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
交付件数	4件	8件	1件
災害援護金総額	35,000円	70,000円	30,000円

地区社会福祉協議会への配分

地 区	配 分 額	地 区	配 分 額
ち の	200,996 円	泉 野	121,780 円
宮 川	548,176 円	金 沢	69,961 円
米 沢	132,752 円	湖 東	304,094 円
豊 平	289,245 円	北 山	81,381 円
玉 川	230,107 円	中大塩	95,282 円
配 分 額 合 計			2,073,774 円

(2) 諏訪ブロック社会福祉協議会

岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村の社会福祉協議会の相互連携による社会福祉の健全な発展、社会福祉活動の活性化、地域福祉の推進、役職員の資質の向上のため、諏訪ブロック社協を組織し、ブロック単位での事業を計画・実施しています。各年度持ち回りにより各市町村社協が事務局を担っています。

活動内容

開催日	会議等	内 容
4月21日(木)	事務局長・次長会議	・令和3年度事業報告・決算 ・令和4年度事業計画・予算
5月23日(月)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・サマーチャレんじについて ・ボランティア・交流研究集会について
6月30日(木)	総会	・令和3年度事業報告・決算 ・令和4年度事業計画・予算 ・令和5年度～10年度の当番事務局の抽籤
7月28日(木)	事務局長・次長会議	・ボランティア・交流研究集会について ・役職員合同研修会について ・インボイス制度について
8月18日(木)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会について
9月27日(火)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会について ・サマーチャレんじ実施状況
12月3日(土)	ボランティア・交流研究集会	・ポッチャを通しての交流
12月13日(火)	役職員合同研修会	・講演会
2月10日(金)	ボランティア・地域福祉関係担当者会議	・ボランティア・交流研究集会の振り返り ・情報交換
事務局当番	R4年度：岡谷市、R5年度：原村、R6年度：諏訪市、R7年度：岡谷市 R8年度：下諏訪町、R9年度：富士見町、R10年度：茅野市	